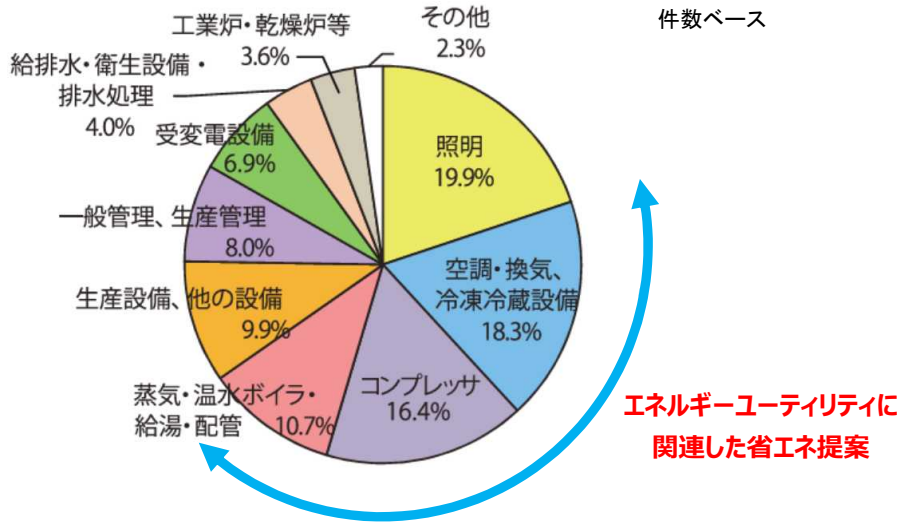


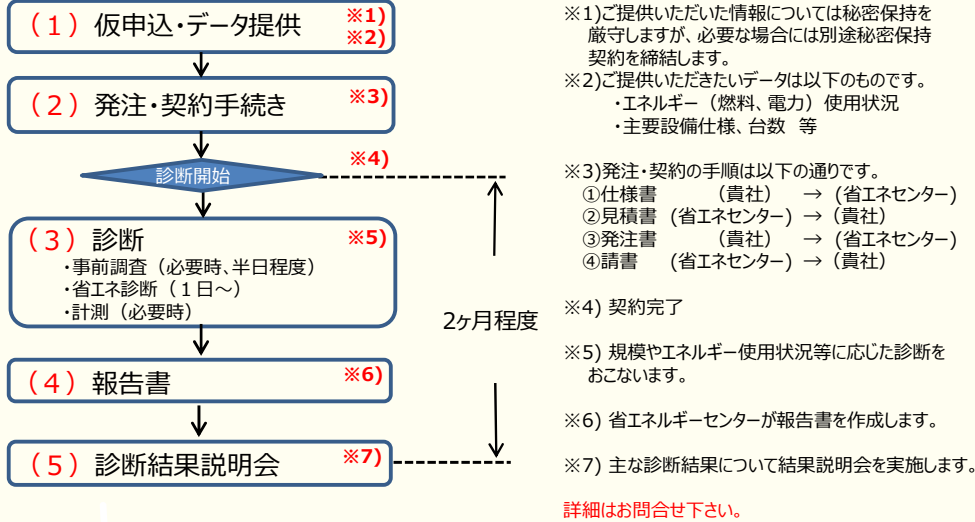
## 診断における改善提案項目

- ◆ 圧縮空気・蒸気等エネルギーユーティリティに関する省エネ改善提案は、全提案の約半分を占めており、診断によって多くの事業所で課題が見つかっています。



## 診断の流れ

省エネ診断を中核としたエネルギー最適化診断の流れは、以下の通りです。



## 省エネルギーセンターの「徹底した省エネ」に向けた活動支援

## エネルギー使用量が多い事業者向け

# エネルギー最適化診断

大規模なビル・工場等に対して、エネルギー使用の見える化やデータ計測に基づく運営改善を抽出し、省エネ方策をご提案します。また、2050年のカーボンニュートラル(CN)に向けて、長期的かつ戦略的な取組み提案等CN推進のお手伝いをいたします。

### このような方におすすめ！

- ・カーボンニュートラルに向けて脱炭素化を進めたい
- ・設備やエネルギー消費機器が多く、どこから省エネを進めたらよいかわからない
- ・ムダなエネルギー消費がどれだけあるか具体的に把握したい
- ・デマンドピークの要因分析をしたい、DRの可能性を知りたい
- ・自社のこれまで行ってきた省エネ活動を評価してほしい

データを活用



## 診断結果の一例

### これまでの診断実績

施設	施設名	延床面積	エネルギー使用量	提案内容
ビル	総合学園	107,000m <sup>2</sup>	2,400kL	・空調・熱源設備更新提案
	総合病院	62,000m <sup>2</sup>	3,300kL	・空調、給湯の省エネ診断、ボイラ運用最適化 ・冷温水機の冷却水設定温度の最適化等
工場	製薬工場	120,000m <sup>2</sup>	6,000kL	・工場全体のエネルギーフロー解析、最適化 ・クリーンルームの運用を中心とした省エネ施策提案
	精密機械	13,000m <sup>2</sup>	2,800kL	・コンプレッサと空調の運用最適化、最適制御 ・工場運用、設備稼働、最適化 デマンド制御
	化学工業	137,000m <sup>2</sup>	137,000kL	・蒸気・圧空・空調が同程度に存在する複合的な工場 ・運転パターンに合わせた省エネ提案
窯業			3,300kL	・焼成炉の省エネ、稼働に合わせた全体最適化 ・インバータ化、漏洩防止等省エネ提案

大中事業者向け  
診断の  
お問い合わせ先



一般財団法人省エネルギーセンター  
技術支援センター

〒108-0023 東京都港区芝浦2-11-5 五十嵐ビルディング

TEL : 03-5439-9733 FAX : 03-5439-9738

電話受付時間 10:00~12:00 13:00~17:00 (土、日、祝日を除く)

お問合せメールはこちら  
check@eccj.or.jp



環境の持続可能性のため、当センターはFSC認証の紙材を使用しています。大規模インキを使用しています。

2025.1.15R



一般財団法人省エネルギーセンター

特徴：診断先の状況に応じて診断メニューを選択

省エネ提案

- EMS解析によるデマンド抑制：
- 生産機械の固定エネルギーを削減：
- 圧縮空気システムのムダ抽出と改善：
- 熱解析によるムダ抽出と改善：

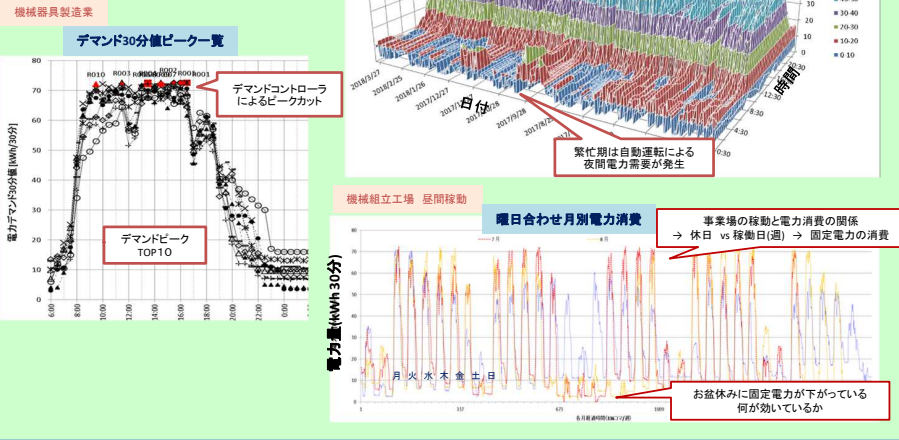
具体例

- デマンドのピーク特定、固定電力のムダを見える化、生産量/温度と原単位の相関
- 加工機械の電流を計測し、夜間・休日等の待機電力を削減
- 漏れの計測、圧力最適化、圧損低減、コンプレッサの使用電力削減
- 熱漏洩計測、スチームトラップ不良検出、圧力最適化

診断事例

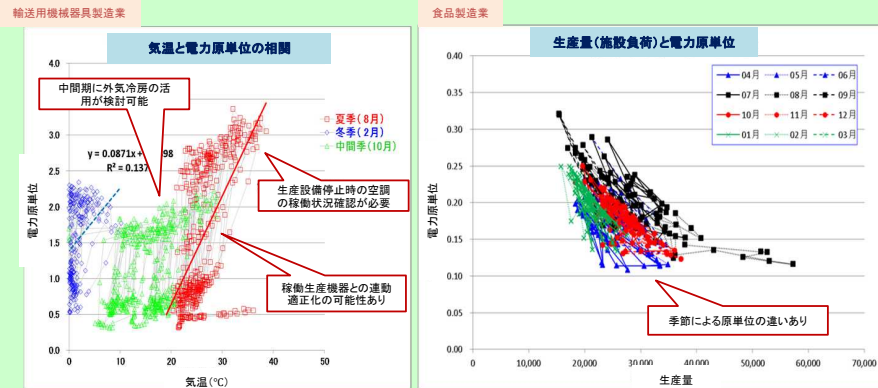
デマンド解析によって省エネ課題を抽出

- デマンド(使用電力)の詳細解析により  
需要のピークを特定し、契約電力低減  
や夜間電力低減を検討



デマンド解析によって原単位を評価、改善

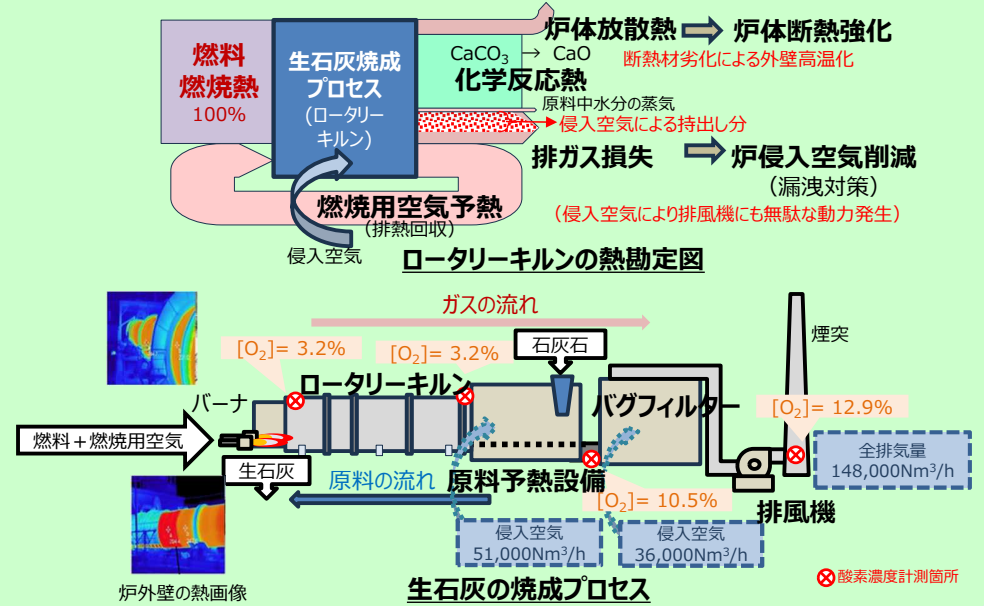
- 電力原単位と生産量や気温の関係を明らかにし、原単位低減方法を検討



診断事例

熱解析 (ロータリーキルンの熱勘定)

- ・排ガス流れの定量化、炉体等温度計測
- ・計測項目： 炉圧、酸素濃度、外壁温度
- ・熱解析： 漏洩空気量の推定、熱漏洩箇所
- ・省エネ対策： 設備侵入空気削減、断熱対策(耐火材補修)



蒸気システムの熱効率改善

- ・蒸気流れの定量化、配管等温度計測
- ・計測項目： 給水・燃料流量、酸素濃度、外壁温度
- ・熱解析： 熱勘定図
- ・省エネ対策： 熱漏洩の削減、ボイラ運転最適化、排熱回収

